

LPガス  
人と地球にスマイルを

# ちば炎の仲間

## 第45期予算総会

・平成23年度第3回理事会を開催

去る1月19日(木)午後2時から千葉市「三井ガーデンホテル千葉」において、千葉県商工労働部保安課山田伸課長、同森文彦保安対策室長の御出席をいただき、平成23年度第3回理事会及び第45期予算総会が開催され、慎重審議の結果、全議案が承認され会議は終了しました。

終了後に同会場にて宮城県協会との合同防災研修会の報告会が行われました。

### 【会長あいさつ要旨】

昨年3月に発生した東日本大震災で被災した地域の1日も早い復旧、復興を願っています。

公益法人を目指す協会として、本年中に申請を行うこととしていますのでご協力をお願いします。

業界には厳しい状況が続いていますが、最終的に消費者に選ばれるエネルギー供給事業者として、その公益性を認識しつつ、地域密着企業として確立させる事が業界の発展につながるものとして期待しています。

又、LPガスの需要期に入っており、消費者の「安全、安心」に心がけた保安の確保に努めていただき、LPガス事故の撲滅をお願いします。

### 【県保安課あいさつ要旨】

東日本大震災では、千葉県でも多大な被害を受け、県では、一日も早い復旧・復興に全力をあげて取り組んでおります。また、原子力発電所の事故により、今後のエネルギーのあり方やエネルギー政策の見直しなど議論されているところであります。その中でLPガスの災害に強く、かつ利便性の高いエネルギーであることが改めて認識されています。

また、県議会においても、昨年10月の本会議にて、災害に強く、備蓄ができ、復旧が早いLPガスを公共施設の災害時に備える必要性についての提案がされています。

LPガスの消費者事故は全国的に高水準で推移していることから、今後とも、皆様には改めて法令遵守の徹底及び保安教育の実施等、自主保安の推進を図るとともに、消費者に対する設備の点検・調査、並びに消費設備の安全な使用方法等の周知活動を徹底し、事故防止に努めていた

だきたいと思いを。

### 【議長選任】

総会には田中耕太郎常任理事(市原支部)が議長に選任され、議事進行を行った。

### 【議事】

**第1号議案** 第45期(平成24年度)事業年度事業計画(案)審議の件

議長は、議場に諮り原案どおり承認されました。

**第2号議案** 第45期(平成24年度)事業年度事業収支予算(案)審議の件

議長は、議場に諮り原案どおり承認されました。

**第3号議案** 理事一部選任の件

定款第15条(役員選任方法)に基づき、河野崇理事(河野ポパングス有限会社)と白鳥学理事(株式会社I社)の残任期間の理事として次記の方が推薦され、議長が議場に諮り、承認されました。

植草 十三雄氏(有限会社桜木燃料)  
小森 毅氏(株式会社I社)

### 【理事会概要】

**議題1** 第44期予算の執行状況と補正予算について(審議事項)

標記予算の執行状況並びに補正予算について資料に基づき説明を行い、承認されました。

**議題2** 第45期(平成24年度)予算総会の諸準備事項について(審議事項)

①第45期予算総会議案書(案)について

②議長について

### 発行

社団法人千葉県LPガス協会広報部会  
〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1  
TEL 043-246-1725  
FAX 043-243-6781  
E-mail: chibalpg@chibalpg.or.jp  
http://www.chibalpg@chibalpg.or.jp

毎月10日は保安の日



田中耕太郎常任理事(市原支部)を推薦することを諮り、承認された。

**議題3** 福島宣言について(審議事項)

上部団体である社団法人エルピーガス協会では、11月16日に開催された常任理事会において「福島宣言」を採択し、12月7日の理事会において正式に採択されました。

その概要は、平時の対応は勿論のこと、災害時も想定して社会的役割及び責任を担っていくために次の5項目を行うことを宣言しております。

- 1 災害時に必要なLPガスを安定供給する責務を果たします。
  - 2 震災時の情報収集体制を整備します。
  - 3 LPガス自動車の一層の普及に努めます。
  - 4 災害に強いLPガスとするため保安面での検討を進めます。
  - 5 発電や節電への対応と再生可能エネルギーの活用を進めます。
- 以上について当協会でも福島宣言を採択することが承認されました。

**議題4** LPガス安全安心向上運動について(審議事項)

(社)エルピーガス協会では、事故半減のための緊急対策(第1弾から第4弾)が発出されておりますが、全国的に事故件数が減少しない状況を踏まえ、47都道府県協会が自県の事故状況等を見て、平成24年度から3年間に亘り各県独自の運動を展開することとなった。

同運動の実施計画書について保安委員会に一任することが承認された。

**議題5** 平成23年度LPガス使用状況について(報告事項)

・保安・防災・減災そして環境プロジェクトの推進!

# 合同防災研修報告会

平成23年11月16日～17日 宮城県協会との合同研修会



(社)千葉県エルピーガス協会では、宮城県協会との合同防災研修会を行い、その報告会が1月19日三井ガーデンホテル千葉にて協会役員及び業種支部会員を対象に行いました。

【鶴沢副会長(卸売支部長)挨拶】

「平成23年3月11日に発生しました東日本大震災は、有史以来未曾有の想像を絶する大災害でありました。当協会においては、平成18年に「災害対策マニュアル」を作成し、災害時に備えておりましたが、全く活用することができなかつたのが実情です。今後千葉県、特に東京湾岸沿いの地震、津波被害も想定されています。

このことに鑑み、被災県である宮城県協会との意見交換並びに現地視察による防災研修会を開催し、「災害対策マニュアル」を見直し、改めて防災体制を再構築し、災害に備えることとした次第です。

研修会当日には(社)エルピーガス協会常任理事会が被災県である福島県で開催され、「福島宣言」を採択し、12月7日の理事会において正式に採択さ

れました。当協会においても承認されております。この「福島宣言」は、平時の対応は勿論のこと、災害時も想定して社会的役割および責任を担っていくために5項目(1ページ右段参照)を行うことを宣言しております。

当協会の防災体制の再構築は、昨年7月理事会において提案した事項を中心に保安委員会において検討することになりますが、「福島宣言」の1(2)中核充てん所の整備等の具体的な検討等を考えますと協会自体の組織の再編も再考する必要があると保安委員会から提案されています。

これら諸般の事情を勘案しながら、本日の合同研修会報告会が、本年3月まで継続される「在り方検」の検討の行方を見定めつつ、今後の当協会の防災体制の再構築に向けての第一歩になることを祈念しております。」

来賓として伊藤昌弘千葉県議会議員、大内美喜子全国消費生活相談員協会エネルギー問題研究会会長、荒尾博千葉県エルピーガス協会防災アドバイ

ザーの方よりあいさつをいただきました。

研修会報告では、千葉県と宮城県協会の31名の方が参加され、基調講演が佐藤正道宮城県協会専務理事よりされました。

その後千葉県協会の大震災時の対応、また震災に対する千葉県協会としての下記の4つの提案がされました。

- 1 情報収集について
- 2 仮設住宅等への対策
- 3 防災基金の早期の創設
- 4 LPG業界独自の防災訓練の必要性

次に宮城県協会へ震災時のLPGガスの事故状況、高圧ホース、マイコンメーター等の安全器具の作動状況、通信状況等の質疑応答、参加者の研修レポートの報告がされました。

## LPガス安全安心向上運動

来年度より3年間標記運動を実施することとなりました。

これまで事故防止対策については、事故半減のための緊急対策などを実施してきましたが、事故件数が減少しない状況にあることから、中央のエルピーガス協会保安委員会では今後の事故防止対策を検討し、各県独自に自県の事故状況等を見て事故防止対策を図ることとなりました。

実施目標は下記のとおりです。

- ①死亡事故ゼロを目指す。
- ②販売事業者に起因する事故ゼロを目指す。
- ③全体の事故件数をできる限り減少させる。

実施期間は、平成24年4月～平成27年3月(3年間)になります。

なお、本年度未までの事故防止対策については、次のとおり続けて行って下さい。

### ◎重点項目

#### 【CO中毒事故防止】

①業務用厨房施設等のCO中毒事故防止(オーナー、管理責任者や従業員等への注意喚起)

②安全機器等の設置促進

(不燃防付き機器への交換促進、CO(換気)警報器の設置促進)

③一般(共同住宅等含む)のお客様のCO中毒事故防止

(不燃防のない機器の撲滅、CO警報器の設置促進、お客様への注意喚起など)

#### 【お客様の不注意による事故防止】

①ガス栓の誤開放防止(未使用末端ガス栓の閉栓措置(閉栓カバーの設置)など)

②点火ミス防止(業務用機器、BF式ふろがま含む)の注意喚起

#### 【自然災害対策】

①容器の確実な鎖がけの徹底

②ガス放出防止器又はガス放出防止型高圧ホースの設置促進

③雪害に対応した容器の設置

### ◎徹底項目

#### 【緊急対策第4弾の総ざらい】

1 販売事業者の法令遵守徹底  
・法令遵守の徹底

・リスク管理の徹底

2 埋設管事故防止

・経年劣化対策の徹底

・耐腐食性管への改善

・他工事による事故防止

3 業務用厨房施設等のCO中毒事故防止

・業務用厨房施設のオーナー、管理責任者や従業員等への注意喚起

・業務用厨房施設のオーナー、管理責任者や従業員等への安全機器等の設置促進

4 販売事業者に起因する事故防止

・供給設備の期限管理及び老朽化対策の徹底等

・空家の充てん容器等の対応

・全ての従業員等への保安教育(注意喚起)の実施

5 都道府県協会独自の対策

独自の事故防止対策の実施

# お知らせ CHIBAちば コーナー 千葉県商工労働部保安課 保安対策室

日ごろから保安行政の推進に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。平成23年の事故情報(速報)をお知らせしますので、事故防止にお役立てください。

## 1 液化石油ガス一般消費者等の事故について

県内の液化石油ガス事故は9件発生したものの、幸いにして負傷者はありませんでした。しかしながら、7月には質量販売による液化石油ガスの使用が原因と思われる火災が発生し(液化

石油ガス事故にあたるか調査中)、1名の方が重傷を負っています。販売事業者等におかれましては、引き続き保安点検の確実な実施や消費者への周知・啓発をとおした事故防止、さらには平成22年3月に協会で作成した「質量販売マニュアル」を参考に質量販売先における事故防止に努められるようお願いいたします。

## 2 高圧ガス保安法(液化石油ガス保安規則関係)の事故について

県内の高圧ガス保安法(液化石油ガス保安規則関係)の事故は6件発生しています。そのうちの1件の銚子市の可燃ごみ焼却施設では、可燃ごみに混入した液化石油ガス容器が原

因で、設備を損傷させる爆発事故が発生しました。販売店におかれましては、質量販売を含めた容器管理の徹底をお願いいたします。また、2件は充てん所における受入・充てん作業中に発生した事故で、製造事業所におかれましては、従業員に対する作業マニュアルの再教育や安全確保の徹底をお願いいたします。

## 3 高圧ガス保安法(液化石油ガス容器の喪失・盗難関係)の事故について

県内での液化石油ガス容器の喪失・盗難事故は29件を数え、近年高止まりの状況です。引き続き空き家の容器を回収する等の対策をお願いいたします。

# 消費者からの相談内容

千葉県LPガスお客様相談所

お客様相談所で受け付けた昨年の相談件数は昨年の154件から235件と81件の増加となりました。相談内容としては、LPガスの価格については81件(34.5%)、販売店の移動については36件(15.3%)、設備関係については23件(9.8%)、保安については43件(18.3%)、その他52件(22.1%)となっております。

相談内容	第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期				合計
	1月	2月	3月	小計	4月	5月	6月	小計	7月	8月	9月	小計	10月	11月	12月	小計	
1 LPガスの価格について	(1) 料金制度、基本料金及び従量料金、料金表について	3	2	1	6	2	2	4	1			1	4	1		5	16
	(2) 他販売店との料金比較について				0			0				0	1			1	1
	(3) 地域における平均料金について	4	1	4	9	5	4	9	3			3		4	2	6	27
	(4) 都市ガス、電力との料金比較について				0			0				0				0	0
	(5) 料金の改定について	4	2		6		1	2				0			1	1	9
	(6) 未使用期間における基本料金について				0			0				0				0	0
	(7) 安全機器の設置費用等について				0			0				0				0	0
	(8) 請求、支払い、滞納、契約について	3		4	7	1		3	4	1	4	5	3	1	1	5	21
	(9) その他	3		1	4		1	1	2			0		1		1	7
2 販売店の移動について	(10) 他業者(都市ガス、電化、その他を含む)からの勧誘について(費用負担・撤去・所有を除く)	2	1		3	1		1	2		1	3	4	1	1	2	11
	(11) 他業者(都市ガス、電化、その他を含む)に変わる際の手順・注意点について(費用負担・撤去・所有を除く)	1			1	1	1	3		1	1	2	1		3	4	10
	(12) その他	1	2	4	7	1		2	3	2		2	1	1	1	3	15
3 設備関係について	(13) 供給設備・消費設備の費用負担(移動含)について	2	1	2	5	1		1	2		1	1	1		1	2	10
	(14) 供給設備・消費設備の撤去・費用関係について	1	1		2	2		2			2	2	2		2	4	10
	(15) 供給設備・消費設備の所有について(14条書面・契約書含む)	1			1			0				0	1			1	2
	(16) その他	1			1			0				0				0	1
4 保安について	(17) 法令、設備基準について(安全機器・集中監視含む)			2	2	1	1	2	1		1	2	1	1	1	3	9
	(18) 燃焼機器について				0			0			1	1	1			1	2
	(19) 調査点検について			1	1	2	1		1		1	1				0	4
	(20) 容器処理について(カセットボンベ除)	2	2	4	8	2		2	3	3	3	9	2	2	2	6	25
	(21) その他				1	1		1				0		1		1	3
5 その他	(22) カセットボンベの処理について	1	2	2	5	2		2			1	1		2		2	10
	(23) 保証金について			1	1	1		1	2		1	1				0	4
	(24) 販売店、メーカーの連絡先の照会について				0			2	2	1	3	4	4	3	8	15	21
	(25) その他	2	1	5	8			1	1			4	4	2	1	4	17
合計	31	16	32	79	21	11	14	46	12	14	17	43	25	19	23	67	235

## ひとりじゃないって、あったかい

● 地平線が朱色に染め、上空からは群青色のどばりが降りて来て、冷たい北風が吹き抜ける。そんな冬の夕暮れは、身も心も震えるばかり。誰もが襟巻を揺り合わせ、背を丸めながら家路を急ぎます。でも好きな人、愛する人と一緒ならそんなもどく吹く風やらど、寄り添う笑顔もあたたかくなる♪となってしまう。だから馬車の改札口とかバス停で、寒風に身構えようとした時に、可愛い子や孫がにっこり迎えてくれたら、どんなに嬉しいだろう。きっと心が温まります。『ひとりじゃないって、あったかい!』これは、今は亡き

上田徹朗先生のコピーですが、寒さに震える季節にこそ、手かんと来ます。あの11.3大震災のあと、心通わすし、支え合える人の大切さを感じ、結婚を決意した人が増えたとか...

『ひとりじゃないって、あったかい!』このコピーの意味を強く、強く感じてしまいます。



### 早春の水仙の香りに誘われて 安房支部(青木酸素商店 青木秀夫)

安房地域には、捕鯨発祥の地の鋸南町、民宿発祥の地の南房総市岩井海岸、酪農発祥の地の南房総市の嶺岡牧場等を含め、観光資源は沢山あります。

近海捕鯨基地の南房総市和田港は、国の許可を得て夏場の3ヶ月間、ツチクジラの捕鯨をします。昨年は26頭を捕獲しました。房州では、「クジラのたれ」といった酒のつまみに最高の干し物をつくります。クジラの解体も見学できます。

鴨川市の打墨地区には江戸の宝暦から文政の時代に活躍した、波の伊八という宮彫師がおり、各地の神社や仏閣に彫り物が残っています。

1月から3月は、露地花の観光で白

浜地区や千倉地区は賑わいます。6月から7月は房州枇杷の季節で富浦地区や富山地区では、皇室への献上枇杷の選定で大忙しです。7月から8月は全ての海水浴場が開かれ、家族連れやカップルで海岸の砂浜が見えなくなるほどです。9月に稲刈りが終わるとお祭りがピークを迎えます。房州地区最大のお祭りが、館山の「八幡のお祭り」です。通称「ヤワタンマチ」といわれ、9月の第3土日に開催されます。千葉テレビでも放映されます。12月から1月にかけては、日本3大水仙自生の地として有名な、鋸南町と富山地区で、水仙祭りが開催されます。

三方を海で囲まれた安房地域、沖合を流れる黒潮の恵みを受け、新鮮な魚介類が豊富に獲れます。また露地花やハウスを使った花の栽培も多様な品種を誇り、人々を楽しませてくれます。

新鮮な野菜も各地の直売所に豊富に



出回っています。この様に海の幸、山の幸が豊富で観光客を楽しませていた安房地方も、去年の3月11日に起こった東日本大震災の後は、風評被害により観光客の入込もかなり減少し、地方経済もかなりの痛手を被りました。やっと従来の70%くらいまで観光客が戻ってくれたと紙上等で報告されましたが、まだまだという感がいたします。是非ドライブがてら気軽に、お越しくださいませ。きっと、疲れた心が癒される事を保証いたします。

## 平成23年度 国家試験が終了 高圧ガス保安協会千葉県試験事務所

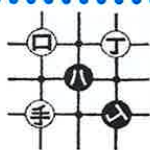
平成23年11月13日(日)に実施された高圧ガス製造保安責任者等試験の合格発表が平成24年1月5日に行われました。試験結果一覧は下表のとおりでしたので、ご報告致します。

試験の種類	科目の区分	全 国				千 葉			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格 率	出願者数	受験者数	合格者数	合格 率
乙 種 化 学	全科目受験	1,949	1,688	316	18.72%	213	179	37	20.67%
	科目免除	986	967	721	74.56%	125	124	78	62.90%
	計	2,935	2,655	1,037	39.06%	338	303	115	37.95%
丙種化学(液石)	全科目受験	3,935	3,381	341	10.09%	125	100	14	14.00%
	科目免除	1,331	1,313	1,266	96.42%	36	36	36	100.00%
	計	5,266	4,694	1,607	34.24%	161	136	50	36.76%
丙種化学(特別)	全科目受験	3,639	3,248	516	15.89%	238	216	24	11.11%
	科目免除	2,238	2,207	2,093	94.83%	156	155	142	91.61%
	計	5,877	5,455	2,609	47.83%	394	371	166	44.74%
乙 種 機 械	全科目受験	4,841	4,247	749	17.64%	308	266	44	16.54%
	科目免除	1,513	1,477	1,165	78.88%	125	123	93	75.61%
	計	6,354	5,724	1,914	33.44%	433	389	137	35.22%
第二種冷凍機械	全科目受験	4,999	4,163	606	14.56%	261	213	28	13.15%
	科目免除	969	955	875	91.62%	67	65	62	95.38%
	計	5,968	5,118	1,481	28.94%	328	278	90	32.37%
第三種冷凍機械	全科目受験	8,998	7,878	3,219	40.86%	429	374	171	45.72%
	科目免除	1,521	1,480	1,363	92.09%	95	92	86	93.48%
	計	10,519	9,358	4,582	48.96%	524	466	257	55.15%

試験の種類	科目の区分	全 国				千 葉			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格 率	出願者数	受験者数	合格者数	合格 率
第一種販売	全科目受験	1,919	1,759	940	53.44%	72	67	32	47.76%
	科目免除	629	617	594	96.27%	25	25	24	96.00%
	計	2,548	2,376	1,534	64.56%	97	92	56	60.87%
第二種販売	全科目受験	5,350	4,915	1,489	30.30%	213	192	75	39.06%
	科目免除	2,596	2,512	2,042	81.29%	77	75	65	86.67%
	計	7,946	7,427	3,531	47.54%	290	267	140	52.43%
合 計	全科目受験	35,630	31,279	8,176	26.14%	1,859	1,607	425	26.45%
	科目免除	11,783	11,528	10,119	87.78%	706	695	586	84.32%
	計	47,413	42,807	18,295	42.74%	2,565	2,302	1,011	43.82%

液化 筆 記	科目の区分	全 国				千 葉			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格 率	出願者数	受験者数	合格者数	合格 率
石油 技 能 設備 士	全科目受験	1,255	1,152	462	40.10%	26	24	10	41.67%
	全科目受験	-	453	363	80.13%	-	10	10	100.00%
	筆記免除	102	100	75	75.00%	1	1	1	100.00%
計	-	553	438	79.20%	-	11	11	100.00%	
合 計	1,357	-	-	-	27	-	-	-	

※ 全科目免除に係る集計は除いています。



### 「時代の変遷と燃料電池」

私が住むのは市川市の行徳。東西線が開通するまでは陸の孤島でしたが、東京都心へのアクセスが良いこともあり、ベッドタウンとして発展し、マンションが立ち並んでおります。しかし、江戸時代行徳には広大な塩田が広がっておりました。(徳川家康が万が一の為に保護。)その後、幕

末から明治にかけて農業との兼業から、近代化が始まりました。塩を焼く燃料も粗朶薪(そだまき…切り取った木の枝等を薪とした)から石炭が用いられるようになりました。ここから祖父は石炭の商売を始め、父の代に入り、石油・エルピーガスの販売と変遷してきました。この様に、時代により

燃料その物が変わってきましたが、燃料から原料の時代に移りつつあります。つまり燃料電池です。昨年より燃料電池の「1社1台運動」が始まりましたが、脱原発が叫ばれる今日、我々も考えを変えて販売に取り組んでいく時代に来たのだと思います。

秋元 利文記